

会議の要旨（議事録）

会議の名称	鳥栖市高齢者福祉計画策定委員会		
開催日時	平成26年7月24日 午後3時から	開催場所	鳥栖市役所 2階第2会議室
出席者数	委員 6人 事務局 6人	傍聴人数	0人
議 題	(1) 高齢者福祉計画の趣旨等について (2) 高齢者の現状と将来推計について (3) 介護保険制度の改正ポイントについて (4) 高齢者要望等実態調査結果について (5) 本市の課題について (6) 計画の方向性について (7) 高齢者福祉計画の策定スケジュールについて		
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第7期高齢者福祉計画について説明資料 ・ スケジュール表 ・ 高齢者要望等実態調査結果の年齢階層別クロス集計表 		
所 管 課	(課名) 社会福祉課		(電話番号) 85-3554

鳥栖市高齢者福祉計画策定委員会会議録

1. 開会
2. 市長あいさつ
3. 委員紹介
4. 正副会長選出
5. 会長あいさつ
6. 議事

○会長

- ・議題について説明依頼

○事務局

- ・議題について資料に添って説明

議題① 高齢者福祉計画の趣旨等について

質問なし

議題② 高齢者の現状と将来推計について

●委員

- ・表にある日常生活自立Ⅱというのは、大体どのくらいの認知症、程度の症状か？

○事務局

- ・Ⅱ a Ⅱ b とあり、Ⅱがついたらかなり認知能力の低下、日常生活には支障が出るレベルになる。

●委員

- ・たとえば家族の見守りがなくても出来るレベルは、Ⅱよりも低いⅠなのか？

○事務局

- ・Ⅱは日中一人で留守が出来ないレベルという事になる。

議題③ 介護保険制度の改正ポイントについて

質問なし

議題④ 高齢者要望等実態調査結果について

●委員

- ・分析の中で、男性女性の分析は？特に思うのは近所付き合いとか表に出るのは女性で、男性の方は引きこもりが多い。出来れば男女別でアンケート分析できれば、と思う。

○事務局

- ・アンケートについては、男性女性別で分けているが、結果についてはまとめていない状況。私どもが日頃仕事をしている中でも、事業を開催しても参加者は女性が非常に多く、男性の方はなかなか出て行く機会が少ない、来ない。教室等を実施しても9割以上が女性の方で、私達も男性の方にも集客を行いたいが、なかなか集まらない。集まらなると事業も続かないというジレンマもある。男女別でまとめて、今後の施策展開も出来るだけ男性が参加し易いような事業を積極的に挙げたいと考えている。

●会長

- ・男女比も含めての年齢層別のもう少し細かい分析も更に必要かなと感じた。アンケート項目中「日頃困っていること」も「特にない」が57.7%だが、年代によってやはり困っている方が増えてきているように思う。身体的に能力が落ちていった時にどうサポートするかが大事で、特に女性の方は骨粗鬆症で急激に機能が落ちて動きが悪くなることもある。

●委員

- ・要望等調査の中で経済的な状況、貧困問題についてのデータは特にまとめていないか？

○事務局

- ・アンケートの中では経済的な状況を含めた設問も挙げている。たとえば資料④「日ごろの悩み

や心配事」の中で「生活費などの経済的なこと」を挙げた方が10.1%いる事が分かる。働きたくても働けない、体が動かない、年金しか収入がない、そういったケースも非常に多く、高齢者虐待問題にも波及している現状がある。解決には難しい所があり、私どもも専門家の方のご意見を聞きながら出来るだけ解決に向けて協力しているが、経済的な事は今後大きな問題になってくると思う。

●会長

- ・要介護状態になった方の費用はある一定額以上はかかるため、国民年金だけの方とかは非常に厳しく、その方達への支援等があればと思う。

議題⑤本市の課題について

質問なし

議題⑥計画の方向性について

質問なし

議題⑦高齢者福祉計画策定スケジュールについて

質問なし

●委員

- ・65歳から74歳の方のうち84%も老人クラブへ加入していない、これはゆゆしき問題で、高齢化が進んでいるのになかなか理解が進んでいない。市老連のシルバーヘルパー制度は200名強の方に一人暮らしの方や病弱の方の全部の名前を挙げ、会員さんが訪問に行ってもらっている。ただ78町区ある中で老人クラブが40クラブしかないの、末端まで浸透していない状況である。

●委員

- ・私の町では60歳全員の方を老人クラブ会員になってもらった。まずは自分の所をしっかりと出来ない人と人に言えないので、今年から対象者全員加入としたが、まだ立ち上げたばかりで実際活動できる所までいかず、何の手助けもしていない。

●会長

- ・市老連の方達がそのような一人暮らしの方を訪問してあるとは知らなかった。民生委員も訪問してあるが、今は民生委員さんもあり手がなくて大変現場が困っていると聞いている。

●委員

- ・民生委員はネットを組んで訪問してあるが、シルバーヘルパーとオーバーラップしている分はそれはそれで良いのだが、民生委員の下部組織のネットは見守りとかお手伝い等家庭内に入り込んで行く事が可能と聞いているが、シルバーヘルパーではそれは出来ず、ただ単に見守りで、電気が付いたから大丈夫と判断する位で立入りは出来ない。クラブがない所が問題で、何が何でも78町区クラブを作ってもらわないといけない。

あと生涯学習課と協力し、子供達に自らの経験を伝えるような活動：寺小屋を立ち上げたいと計画している。国語・英語・算数教室を考えていて、子供たちと一緒に活動しながら子供達からも元気ももらいたい。これを今年中に立ち上げたい。その協力をまちづくりセンターにもお願いしたい。立ち上がればボランティア活動として参加してもらえればと思っている。それとしっかりしたリーダーが足りない。今の若手高齢者は自己主義者が多く社会奉仕活動を行おうとする者が少ない、これは風潮であり、社会の問題である。全体でしっかりしたいが、何か良い施策はないか？これから高齢化率40%になるが、どんな社会になるのか。

●委員

- ・老人クラブに入ったら清掃活動等しなければならぬから入らない、という方が多く、清掃活動も少なかったが、会員を増やしていたのでこの前の清掃活動で10数名出てきて頂いており、新しい顔と出会えうまくいっていると思う。

●委員

- ・会員が増えれば総体の土台（分母）が増えるから良い。

○事務局

- ・先ほど言われていたふれあいネットワークの件だが、民生委員個人としては各家庭に入り込んで出来ることはあると思うが、ふれあいネットワーク自体は色々な方が民生委員の下部組織ではなくボランティアとしてご協力を頂いているので、ふれあいネットワーク全部の方が各家庭内に入り込むという事はないと思う。

●委員

- ・ふれあいネットワークでは要支援者が356名、それに対して見守りの方が1,014名。大体一人に対して3名程度で見守りを行っている。昔の愛の一声運動から始まったので、やはり中に入っては難しい。

もう一つ、一人暮らしの所で男性の所に女性が行かれると変な噂がたつので、ウチは来なくて良いという方や、逆のパターンもあり、難しいところである。

●委員

- ・見守りの必要がある方で隣の方などをお願いする時に、女性の所に男性が行くといけないので必ず女性に依頼したり、先方が嫌がることはしない等色々あり、年度末など十何件頭下げて回るなど協力者探しが一番難しい。

●会長

- ・草の根的に一步一步広げて行く事が必要。

●委員

- ・班長が毎年変わるが、いつもお願いしていることは、子供さんでも町で悪いことをして見つけたらすぐ怒って下さい、と話している。もし先方の親御さんが言ってきたら私に話してもらって結構。町で見守る事がいかに大事か、私は全体が家族と思っているので。

●委員

- ・これだけ高齢者が増えてくると老々介護が増えてくる。本来元気な老人は元気でない老人の世話をしないといけないと思っている。

●会長

- ・本当はそういう仕組みづくりをしないといけないと思っている。

●委員

- ・施設の若い職員の方が集まる機会の席で、鳥栖市は良いですね、活気がありますねと言われた。介護も医療も整った上で鳥栖市に住みたいなと思ってくれる若い人が増えたらと思っている。施設の職員も以前は免許資格を持っている方しか入れていなかったが、今はやる気ある方は良いですよ、とフリーパス状態。ウチの施設でお嫁さんのご両親を他市から呼んで入所されて利用されてある方がいらっしゃる。やはり良いサービスをどんどんやって鳥栖市に永く住んでくれると良いと考えている。

○事務局

- ・元気な老人が世話をでき支えるような制度が介護保険法の中でも新しく制定される。まだ中身等具体的な内容が決まっていないので詳しくは言えないが、介護保険事業計画の中でもぜひ方向性は入れていきたいと思っている。

●会長

- ・せっかく現場で頑張っている方や要支援の方を支援して頂いて予算をつけて頂くとか検討頂きたいと思う。

これで議題全て終了となる。議事運営のご協力誠に有難うございました。

- 本日は長時間にわたり慎重にご審議して頂きありがとうございました。これを持ちまして本日の第1回高齢者福祉計画策定委員会を終わらせて頂く。次回は10月2日（木）15時からとなっている。ご案内は別途差し上げる予定である。本日は大変お疲れ様でした。

○閉会